



林床ではベニヤマシャクヤク、左のフタリシズカが
楚々と咲いていました

吉野観察会
森里海のつながりから林業を考える
平成27年5月26日(火) 快晴、27℃



本年度最初の田中克先生コーディネートの自然観察会です。
お天気にも恵まれ、山林業の要である作業道をメインに吉野地方の林業が1本の木を捨てるところなく利用しようとする試みを学ぶことが出来た観察会でした。36名の参加者全員何事もなく、たなかの柿の葉寿司を買い込んで予定通りに大阪駅前に帰ってきました。



森と水の源流館で木村氏が吉野の自然についての説明



岡橋清元氏がつけた作業道をマイクロバスで清光林業さんの山へ登り右の記念書付の前で記念撮影



利用大型バスとマイクロバス



記念の書付
20～30年は残ること



岡橋氏がパネルを用いて日本中でも一番急峻な吉野の山に山の手入れの効率化に絶対必要な作業道の作り方の説明がありました

説明をしている岡橋氏と手入れの行き届いた明るい林床



坂口製材所で日本木材の素晴らしさを…



間伐材を利用した建築中のバイオマス発電所



谷さんのお別れの挨拶